

追跡

小川BSスマートIC（仮称） 建設はどうなった？

高速を跨ぐ高架橋事業費大幅に減額 6億9000万円→3億4000万円



県道小川線の交差点の改良計画も一部変更になりました。この交差点に信号設置の声がありましたが、警察は信号機の設置は難しいとしています。

アクセス道路の形状についても一部変更がありました。道路の傾斜角度が当初より緩くなりそのため法面等は広くなるところがあります。

高速道路を跨ぐ橋（高架橋）も南へ移動。橋の長さも当初予定の116メートルから90メートルに短縮し、地質調査や詳細な設計を行った結果、事業費も当初の6億9000万円から、3億4000万円に変更されました。

当初計画よりアクセス道路が南（八代）方向へ移動しました。

氷川町と宇城市の事業費負担割合がますます重要に 「議会全員協議会」で意見統出

1月4日開催された氷川町議会全員協議会で、小川BSスマートIC（仮称）事業費の最新の資料が公表されました。今回公表された資料によると、宇城市と氷川町の事業費は前回の時よりも約1億7000万円増となり、17億8013万円になることが判りました。

高速を跨ぐ高架橋は、建設場所を変更したために事業費が当初計画よりも約3億円少なく済むことが判りました。一方、氷川町内のアクセス道路の形状等が変更になるなどしたために反対に増額となっています。議員から、「負担割合を早く決めるべきだ」「県道小川線の交差点は、子どもたちが安心して通学できるように信号機が必要」と意見が相次ぎ、宇城市との協議を早く行うことが必要ということになりました。



議会全員協議会（1月4日）

業者告発決議の 取り消しを求める決議

氷川町議会は、100条委員会の調査が終了し、竜北公園の入札に参加した業者を告発する決議をし、その準備をしてきたなかで町職員3人、町議会議員一人が逮捕される「入札妨害事件」が発生した。議会・議員は、町政の監視役としての責務を発揮し、より良い町政をめざさなければならない。今回の問題を深く反省し、今議会が果たさなければならないのは町民のみ皆さんの信頼回復と考え、先に議決した業者告発決議を取り消すことを決議する。



氷川町議会議場

入札制度の改善・改革に 取り組むことを強く求める決議

本町が発注した公共工事入札で、町職員、町議会議員、町内業者が「入札妨害」容疑で逮捕されるという事件が発生し、町民各位に多大な心配と迷惑をかけ、信頼を損なうことになったことは重大である。

本町議会ではこの間、竜北公園第3期遊具工事入札に関する調査特別委員会（100条委員会）を設置し、入札談合疑惑の真相究明に取り組んできたところである。そういうなかで発生した今回の事件はとくに重大と考える。

本町では、過去に入札参加者の半数以上が

「失格」という不自然な入札が起きている。また、入札で本来は失格としなければならないのに失格としないなど、入札を厳格に行ってこなかったなど、入札で不正なことが起きている。今後、こうしたことを二度と発生させないためにも入札制度の改善が必要となっている。

よって、本町の入札制度について、条例の順守はもとより、入札過程の透明化、公平公正な入札のために、ただちに入札制度の改善、改革に取り組むことを強く求める。

以上決議する。
（氷川町議会）

入札妨害事件で引責 町長・議員の給与 10%減額決まる

今回の入札妨害事件を受けて、藤本町長から出されていた、町長の給与削減の議案を議会は反対多数で否決しました。その後、議会議員で協議し、町長だけの給与削減でなく、二度とこういうことが起きないようにすべきで、議員の給与も削減すべきではないかという声が大勢を占めました。協議の結果、議員の報酬月額10%削減を3か月間行うことにしました。

12月17日開催された臨時議会で、全会一致で議員の削減が決まりました。また、同日に藤本町長から提案された、町長の給与を3か月間、月額10%を削減することも全会一致で可決しました。給与削減は平成23年1月から3月まで行われます。

議会構成が 一部変わりました

米村洋議員の辞職に伴い、空席となった氷川町議会議会運営委員会委員（欠員2）と八代広域行政事務組合議会議員の選出が行われました。

- ◎氷川町議会議会運営委員
吉川義雄議員・上田健一議員
- ◎八代広域行政事務組合議員
三浦賢治議員